

令和元年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和元年 10 月 11 日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 なかまち一ず
氏名 会長 是澤俊輔

令和元年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

取組の名称	なかまち一ず	
取組の概要	<p>当団体は、地域の自助・互助・共助・公助を支えるネットワークづくりならびに保健－医療－介護－福祉の連携強化、また在宅医療・介護・福祉・防災などの普及啓発に関する事業を行い、岡山市中区地域の住民が健康で医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で最後まで暮らし続けられる地域づくりに寄与することを目的に活動を行っている。</p> <p>具体的な主な活動としては、「なかまち一ず多職種意見交換会」「なかまち一ず市民と専門職の意見交換会」の実施及び「なかまち一ずフェスティバル」の開催を行い、地域のニーズ把握から課題解決につながる循環的な取り組みを実施している。</p> <p>詳細については、様式 1 に記載。</p>	
協働団体	<p>これさわ内科、氏平医院、てらだ内科クリニック、高島歯科医院、岡山もも訪問歯科、おかやま薬局、岡山訪問看護ステーション看護協会、訪問看護ステーションたんぽぽ、赤松薬局、たくふう会グループ、おまち整形外科医院、岡山東中央病院、総合病院岡山協立病院、岡山医療生活協同組合健康まちづくりセンター、岡山旭東病院、山陽病院、岡山リハビリテーション病院、岡山博愛会病院、竜操整形外科病院、サン・オークス岡山、松風会、岡山県栄養士会、岡山市中区地域包括支援センター、岡山市ふれあい介護予防センター、岡山市中区保健センター</p>	
取組の実施期間	始期：令和元年 4 月～	<input type="checkbox"/> 令和 年 月 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続予定 <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 終了 予定 <small>※該当するものに☑し時期の予定し必要事項記入してください。</small>

● 次の書類等を添付してください。

① [様式 1] 協働による社会課題解決の取組の内容

② [様式 2] 取組実施団体概要書

③ 写真等取組イメージ画像の電子データ (1 枚)

インターネット投票を行う際にエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順 (事務局受付順) に掲載します。

④ 取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート (A4 または A3) 1 枚

シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います (シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。)

⑤ その他取組の説明資料：A4 で 2 ページ以内で添付できます。

※ 提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、[様式 2] 以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	「なかまち一ず」
令和元年度 募集テーマ	すべての人に健康と優しさを SDGs 目標 3：すべての人に健康と福祉を
テーマとの関連	<p>◎テーマと合致する貴団体の取組についてお書きください。</p> <p>【健康】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の健康増進に向けた情報提供および健康チェック、健診への動機づけ ・認知症やフレイル、糖尿病、脳卒中等の疾患予防と適切な対応についての発信 <p>【健康×優しさ⇒ささえあいの地域づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症フレンドリーな社会に向けて認知症サポーターの養成やまちづくりに向けた学習の機会 ・地域課題（少子高齢化、独居高齢者増等による無縁化、ひきこもり、地域活動人材不足） ・多世代交流によるつながり作り（学校、大学、自治組織、企業、消防、警察、医療介護事業） ・有事の備えとしての防災対策、個人の困りごとに対するインフォーマルな事業の検討 ・企業にも働きかけ地域づくりに対する理解促進と協賛・協働 <p>⇒年に1度「なかまち一ずフェスティバル」を開催し、すべての活動に対する報告、情報発信、普及啓発、体験、交流、活躍の場</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについてお書きください。</p> <p>社会課題）少子高齢化、認知症高齢者の増加、社会の複雑化による影響、地域のつながりの希薄化、独居高齢者の増加、健康に対する意識格差、町内会組織の高齢化など</p> <p>目的)</p> <p>“地域共生社会において多世代が安心して中区地域に住み続けられるように” ”医療・福祉面から担える自助～互助力および地域支え合いの強化に向けた地域づくりへの寄与</p> <p>→・疾病予防～健康増進～治療の啓発とネットワーク体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民間、住民と専門職のつながり、支え合い等につながる活動を医療介護福祉専門職の視点でサポート ・地域住民の抱える課題、困りごと、不安ごとの対策化や解決に向けた協働 <p>例：防災・災害時の対応、住民の健康、医療介護の不安時の相談窓口、健康チェック、地域の活動継続の相談支援・・・等</p> <p>目標)</p> <p>【疾病予防～健康増進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の地域住民の健康増進を図る（栄養、運動、地域住民とのかかわりの機会等） ・疾病予防および受診（検診）率等の健康意識の向上 ・認知症に対する理解促進（予防、治療、診断後のサポートや認知症フレンドリー社会に向けた地域の見守りなど）や普及啓発により、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で最後まで暮らし続けられる地域づくりに寄与する <p>【社会的課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者や障がい者等の孤立化（ひきこもり） ・高齢化、地域における関係性の希薄化 ・多世代交流・居場所の提供による地域醸成

	<p>【住民の困りごとに対する協働に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なかまち一ずのネットワークによる各地域に応じた仕組みやインフォーマルサービスの考案 ・ 地域の企業に地域づくり協働に向けて働きかけ ・ 各町内会エリアの活動報告⇒町内会間の住民同士の情報交換の場づくり <p>【解決後の姿】</p> <p>地域に多数健在する中区の医療・介護・福祉の機関が地域住民の健康相談や困りごとの相談拠点や繋がり場の場、居場所などの活動拠点になり、地域に根差した専門職が住民とともに地域課題解決に向けた協働のネットワーク化、仕組みづくり、住民活動のサポートを担うことで安心して暮らせる中区を目指す。企業においては、地域貢献の機会としてフェスティバルの協働により企業の協賛・協働を増やし、地域づくりや健康増進に賛同していただける企業を増やし、企業と地域の特性に応じた効果的な連携方法を模索し、インフォーマルな社会資源の創設を目指す。</p> <p>また、繋がり場の発展においては、地域の障がい者や高齢者の多様な「働く」場の雇用ニーズとしての理解促進の機会としても期待できる。</p> <p>医療機関は、多世代誰もが関与する場であり、地域の機関が繋がり合うことでシームレスな情報発信の拠点となり得る。また、これらのネットワークを発展させることで、地域の社会資源としてひと、もの、場所を地域づくりに活かすことが期待できる。</p>
取組の内容	<p>◎取組の内容について具体的にお書きください。</p> <p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など</p> <p>中区の多世代の住民、地域の自治組織、企業、学校、病院、施設、医療介護福祉専門職など（※近隣地域の方も参加可能）</p> <p>2 活動内容、実施方法など（活動ごとに箇条書きで） ※詳細は資料参照</p> <p>①「なかまち一ず準備（コアメンバー）会議」の実施（6回/年）</p> <p>②「なかまち一ず本会議」の実施（6回/年）</p> <p>毎月、自主活動による定例会議において、地域のニーズの共有や情報交換と以下の③～⑤の取り組みの計画および運営協議</p> <p>③「住民と専門職の意見交換会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の課題や医療、介護、福祉に関連する住民の関心事などのテーマをもとに、地域の病院や医療介護福祉専門職との意見交換を通して、学習や課題解決に向けたニーズの発掘を行う。 <p>昨年は、西日本豪雨災害後であり住民のニーズが高かった「防災について」をテーマに実施。◎中区内での地域性も考慮し、3 エリア（①操南・富山学区、②竜操・高島学区、③操山・東山学区）において、各エリアの拠点機関のメンバーが中心に運営し開催。</p> <p>④「多職種の顔の見える連携の会」（地域ニーズに応じた学習と意見交換会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ③の声をもとに地域のニーズ把握、専門職や所属機関として対応できる地域での役割や対応について考える機会 ・ 専門職の顔の見える連携による在宅医療の推進とネットワーク構築、地域課題解決方法の検討 ・ 医療介護福祉の視点に加え、地域福祉の視点における専門職としてのスキルアップ <p>⑤「なかまち一ずフェスティバル」</p> <p>◎昨年は約 1000 人の参加者（2019/3/31 開催）</p> <p>住民（高齢者、子育て世代、児童などの多世代）、町内会、学校、障がい者関連施設、企業、病院、各専門職団体、消防署、などが協働しあいてブース出展や情報発信、体験などをおこなった。</p>

【フェスティバルの目的（盛り込んだ内容）】

- ・医療・介護・保健・福祉に関連する多様な課題への普及啓発の場
- ・在宅医療・介護に対する普及啓発の場
- ・地域の人的・物的社会資源を知る機会
- ・住民ニーズの把握と専門職とつながる場
- ・認知症や高齢者・障がい者等にもやさしい地域づくりに対する普及啓発と協働促進の場
- ・健康チェックによる健康や医療に関心をもつ機会、健康作りに関する情報交換の場
- ・地域づくりを目的とした住民の情報交換の場
- ・多世代（赤ちゃんから高齢者まで）の交流の場、活躍を披露するなど社会参加の場
- ・多分野（住民・医療・介護・福祉・企業・大学・消防・警察…等）の協働による安心なまちづくりの啓発
- ・住民参加型の自主活動を応援、住民同士がつながる場 . . . など

【なかまち一ずの運営状況の詳細】

- ・「なかまち一ず本会議」の実施（6回/年）。
- ・「なかまち一ず準備（コアメンバー）会議」の実施（6回/年）。
- ・「なかまち一ず多職種意見交換会」の企画及び開催（1回/年）。
- ・「なかまち一ず市民と専門職の意見交換会」の企画及び開催（1回/年）。
- ・「なかまち一ずフェスティバル」の企画及び開催（1回/年）。
- ・「なかまち一ずフェスティバル準備会議」の実施（10回/年）。

◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。

	団体名	この取組で果たしている役割
協働団体とその役割	<p>これさわ内科、氏平医院、てらだ内科クリニック、高島歯科医院、岡山もも訪問歯科、おかやま薬局、岡山訪問看護ステーション看護協会、訪問看護ステーションたんぽぽ、赤松薬局、たくふう会グループ、おまち整形外科医院、岡山東中央病院、総合病院岡山協立病院、岡山医療生活協同組合健康まちづくりセンター、岡山旭東病院、山陽病院、岡山リハビリテーション病院、岡山博愛会病院、竜操整形外科病院、サン・オークス岡山、松風会、岡山県栄養士会、岡山市中区地域包括支援センター、岡山市ふれあい介護予防センター、岡山市中区保健センター</p>	<p>中区における医療・介護・福祉分野における多種多様な法人、機関、職種、立場のメンバーであり、当ネットワークは地域活動に熱心な専門職などの多様な人材の宝庫であります。</p> <p>また、所属組織を巻き込んだ大きなネットワークは、波及効果は大きいと考えます。</p>
取組の工夫 取組の特徴	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点をお書きください。</p> <p>ネットワークの始まりは、医療福祉介護専門職のネットワークからの出発ではありましたが、地域共生社会にむけて多世代の住民の誰もが安心して住み続けられる地域社会へ専門職として寄り添うことは目標のひとつ。</p> <p>そのため、住民主体の地域づくりに多様な専門職の人的社会資源の宝庫である病院等が医療面から福祉的視点でネットワークとしてサポートできる地域づくりを考えています。</p> <p>そのうえで、特に意識したことはあくまでも専門職が中心にならないように地域住民の声をもとに住民のニーズからの活動展開を大切にしています。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントをお書きください。</p> <p>医療・介護・福祉分野における多種多様な法人、機関、職種、立場のメンバーであり、当ネットワークは地域活動に熱心な専門職などの多様な人材の宝庫です。事業主体は自主活動です。</p>	
成果・効果	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などをお書きください。</p> <p>中区地域内の協働する協働する団体数も年々増加しており、活動をネットワークで展開していくことを継続することで、多団体の地域活動に参画する意識向上に繋がっている。</p> <p>また、住民目線では、協働する団体が増加していくことで、地域の中で情報入手や多様な専門職（機関）等に「つながれる拠点」が増加しており、より多くの住民ニーズの把握から課題解決に向けた企画立案や、医療や健康、福祉等の情報発信の機会や相談希望時に専門職につながる機会が増えている。</p> <p>特に工夫したことは、あくまでも専門職が中心にならないように地域住民の声をもとに住民のニーズからの活動展開を大切にしています。</p> <p>多様な地域社会の課題を多様な視点で（地域全体で）考え、協働して解決の仕組みを持続していけるように、医療福祉介護専門職のみならず、多世代の住民や公民館、大学、学校、消防、警察、企業、行政など多世代の多団体との交流に努めました。そして、地域ニーズの課題の発見と共有、解決に向けた課題の社会化を意識して多団体の目標と協働できる部分を模索して地域づくりを地域全体で取り組んでいくことを重要視しました。</p>	

<p>成果・効果</p>	<p>① 地域住民に対して： 多くの住民との協働の機会および地域課題の普及啓発の機会として「なかまち一ずフェスティバル」の開催を通して「誰もが安心して住み続けられる中区」についての関心に繋がっている。</p> <p>② 企業に対して： この活動趣旨や様々な社会的課題への理解が地域に必要であることを発信し、企業の地域貢献としての意味合いを共有しフェスティバルの協働・協賛いただくことを切り口に企業の地域活動（CSR）の機会作りにもなっている。</p> <p>③ 医療介護福祉専門職に対して： 多分野多団体とのコラボレーションによる地域活動が当ネットワークのアピールポイントであり、中区内の各エリアにおける多分野多団体の地域の特徴に応じたよい取り組み情報が入手できる機会ともなっており、相乗効果を産む機会にもなっている。</p> <p>【全体を通して】 本ネットワーク組織は各団体が医療介護福祉の地域密着の実働機関であるため、住民に身近で個人の不安要素や地域の課題、住民ニーズの把握が出来やすいという強みがある。 ネットワーク組織が拡大していくことで、多様な立場のメンバー構成と多団体の協働も徐々に広がっているため、課題解決につながるインフォーマルサービスの創設やネットワークの醸成にも寄与できる。途上ではあるが、企業にも働きかけることで地域づくりの輪が広がっており今後も無限の発展性を秘めている。 例）協働する企業にも認知症サポーター養成講座の受講を働きかけ、認知症サポーターになっていただき理解が促進された。また、医療機関との協働において企業の健康増進に関する意識改善にも繋がっている。</p>
<p>今後の活動展開など</p>	<p>◎今後の成果の普及や活動展開などについてお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なかまち一ず」につながれば住民の不安や困りごとが解決できるネットワークへ ・「健康福祉特区中区」、「誰もが安心して住み続けられる中区」を目指す <p>○健康チェックや検診率の向上を目指し住民の医療や健康増進、福祉的生活支援など安心して中区で長寿生活ができる仕組みを「なかまち一ず」と多団体の協働で創設する。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンや地域社会活動などの自助・互助活動に参加することでドック割引券配布等 ・「ポジティブヘルス」に寄与する取り組みの展開 ・高齢者の運転免許問題 ⇒ ドライビングサポートカーやスマートアシストの展開 ・認知症もふくめてみんなのフレンドリー社会にむけて ⇒小学生から認知症に対する理解促進とやさしいまちづくりの種まき ・企業の協賛の拡大 ⇒双方向のメリットのある協働を模索し、やさしい地域づくりの持続可能な仕組みとする。 ・医療に対する敷居を低くし、予防から病気の早期発見や治療につながる地域を目指す。 ・多世代交流拠点を当ネットワークも協力して増やす ・事業展開を見越して取り組みを SNS 等でも発信し他地域でも波及できるように体制整備

News Letter

Vol.04 / 2019.2 (開催に向けて適宜発行)

第3回

なかまちーず フェスティバル 中区

つながろう！安心できるまち

お子さんと一緒に
楽しめる企画やフード
コーナーなどをたくさん
用意してお待ちしています！
お気軽にお越しください♪

入場
無料

2019.3.31(日) 9:40-15:00 頃 岡山ふれあいセンター
702-8002 岡山市中区桑野 715-2

9:45 ~ オープニングセレモニー

迫力ある『和太鼓同好会 -sora-』がオープニングを盛り上げます！
中区で活躍中の「バンダ・フィラルモニカ岡山」の吹奏楽演奏も！！

10:40 ~ 「地域の防災対策について」岡山市中消防署 (小ホール)

11:15 ~ 講演「本音で語る在宅医療」 (小ホール)

講師：てらだ内科クリニック 寺田亮先生

11:50 ~ 講演「脳の健康・心の健康」

講師：岡山旭東病院 土井章弘先生

12:30 ~ 「ロコモティブシンドロームについて」 (小ホール)

講師：竜操整形外科病院 角南先生と仲間たち

13:10 ~ 認知症サポーター養成講座 (小ホール)

①「(仮)認知症について」講師：氏平医院 氏平徹先生

②「認知症の方への対応について」キャラバンメイト



14:30 ~ 『晴吹』による吹奏楽 演奏

14:50 ~ 大抽選会・・・終了後閉会式

今年の主なテーマ

医療・介護・防災

地域で連携して備える防災に
ついて医療・介護の視点から
情報発信していきます！



昨年のフェスで配布した
なかまちーずファイルを
お持ちの方はご持参下さい♪

【お問合せ】

086-276-3231

なかまちーず実行委員会事務局
岡山旭東病院内 (河村・藪野)

【発行・主催】なかまちーず

これさわ内科医院、氏平医院、てらだ内科クリニック、いぬい医院、高島歯科医院、岡山もも訪問歯科、岡山市薬剤師会、おかやま薬局(本部・高島店)、赤松薬局介護サービス部、岡山訪問看護ステーション看護協会、訪問看護ステーションたんぽぽ、おまち整形外科医院、たくふう会グループ、総合病院岡山協立病院、岡山医療生活協同組合 健康まちづくりセンター、岡山東中央病院、岡山旭東病院、山陽病院、岡山博愛会病院、岡山リハビリテーション病院、竜操整形外科病院、りゅうそうクリニック、サン・オクス岡山、社会福祉法人松風会、昭友会ケアプランセンター、岡山市地域包括支援センター、岡山市ふれあい介護予防センター、岡山市中区保健センター

【協力企業・団体】

岡山市中消防署、(株)両備システムズ、(株)いのうえ、飛鳥グループ協同組合、山陽学園大学、(株)中国銀行、(株)HUGHUG はぐはぐの家、(株)ウェルサークル、エヌエス日清、みなと薬局、(有)ソッネ 朝日薬局、(株)ケイ・クリエイト、東山薬局、(株)新富薬局、(株)竹水堂薬局、岡山平成薬局、阪神調剤薬局、虹いろ薬局、めばえ薬局、エスマイル薬局、モンモン薬局、E薬局、社会福祉法人白樺会、(株)SEIYU、(株)服部管楽器、山陽マルナカ、(株)ジョア 他

【後援予定】

岡山市、NPO法人岡山県介護支援専門員協会、公益社団法人岡山県栄養士会、岡山県訪問看護ステーション連絡協議会、岡山市医師会、岡山県理学療法士会、岡山県放射線技師会、岡山県地域包括ケアシステム学会、岡山県通所リハビリテーション協議会、一般財団法人 岡山県医療ソーシャルワーカー協会、岡山県臨床整形外科医会、社会福祉法人岡山市社会福祉協議会 他

(順不同)

抽選引換券
※引換は14時まで



【主催】中区地域保健医療福祉介護連携懇話会（“なかまち一ず”）

操南・富山学区「在宅医療・介護」意見交換会

～操南・富山学区住民と在宅ケアに関わる多職種が集う意見交換会～

のお知らせ

「自然災害に遭ったら、どうすればいいの？」

～地域防災と在宅医療・介護の現状と課題～

平成30年7月の西日本豪雨により岡山県でも多くの方が被災されました。被災された方や関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回発生した災害を教訓に、操南・富山学区の住民と在宅医療・介護に関わる専門職が語り合い、自然災害に遭った際の困り事・心配事について地域の方々と専門職の視点から相互に情報共有し、必要な対策や地域づくりを考えたいと思います。

ぜひ、一緒にお話してみませんか？

日時：平成31年1月20日（日）

9：30～11：50（受付9：00～）

場所：岡山旭東病院 1F「パッチアダムスホール」

（岡山市中区倉田567-1）

参加対象者

①操南・富山学区の方 約50名

②操南・富山学区の医療・介護関係者 約30名

（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員、栄養士、介護支援専門員、病院地域医療連携室など、地域医療・介護・ケアに携わる関係者）

お問い合わせ先

岡山旭東病院 地域医療サポート室 担当：河村、薮野

TEL：086-276-3231（内線6661）

FAX：086-274-7303

タイムスケジュール、申込については裏面へ